



イラスト：佐藤アモール陽子

地震のときは……

マンボカー パラダイス

普段からいつきてもおかしくないといわれている東京を中心とした大地震に対しては多少の備えはあるものの、まさかそれより先に関西でこんなにも規模の大きい地震が来るとは、誰が予想していたでしょうか。高速道路が陥没したり、新幹線の橋桁が落ちたり、東京でテレビでこの模様を見るかぎり、決して人ごこのようには思えません。兵庫県南部地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

地震が起きてから、火災現場へ消防車の到着が遅れたり、避難所へ救援物資がなかなか届かなかったりしているのを見るにつけ、初期の段階での交通規制が行なわれなかったことがさらに被害を大きくしてしまっただけで考えられないでしょうか。火災現場の横をノロノロ走っている自家用車の列を見てみると、それぞれ事情があるのかもしれませんが、緊急のクルマが走れないような状況をつくってしまっている認識はおそろしくドライバーにはないでしょうか。自家用車に乗って避難している人を責めるわけではありませんが、このよう

な状況になる前に、適切な対応をしなければいけない行政のありかたも、今後問われるでしょう。

東京では、大地震が起こるといわれたからかなり時間が経っているのに、万が一クルマに乗っているときに起こった場合は、キーをつけたまま道路端に止めるようにと、各広報で呼びかけていますが、実際今回の地震のようにクルマで避難する人が後を絶たなかったらどうなるのでしょうか。時間が経つにつれて、同規模の地震が東京で発生したときのシミュレーションなどを各マスコミは報じていますが、クルマなしでは生活できない現在、こうした天変地異の時こそルールに従って行動するよう、それぞれが考えなければいけないことだと思えます。

交通行政については、日本は諸外国と比較してかなり遅れていることや、日本独特の進化をしまっている特殊な状況など、今

だから考え直さなければいけない問題が山積み状況です。悲しいことですが今回実際に起こった地震の教訓を早く生かして、次に起きたときの被害を最小限に食い止める手立てをみんな考えてみましょう。

クルマは、大変便利なものですが、直接的にまた間接的に人の命を奪うものでもあります。クルマに乗ると、とくに自分さえよければという考えになりがちですが、とんでもないことですが、どうか思いやりの気持ちを忘れな

PARADISE YAMAMOTO

【プロフィール】

元東京パノラママンボボーイズのリーダー。富士重工業デザインセンターで、カーデザイナーとしても活躍していた。初代レガシィツーリングワゴン、アルシオーネS V Xなどのデザインを手掛ける。マンボ画家ソリマチアキラといっしょの東京ラテンムードデラックスも現在東京の音楽シーンで人気者。また現在発売中のパラダイス山元選曲・監修による東京ダンスホールデラックスシリーズ（東芝EMI）もダンスファンはもとより、渋谷系の若者にも人気。東京パノラママンボボーイズ以来の、パラダイス山元おなじみのアーツ、うっ！のエキサイティングボーイスもたくさん入っていると。